

【金属含有薬剤と相互作用を起こすおそれのある当院採用の経口剤】



分類	薬品名	一般名	金属				備考				
			Al	Mg	Fe	Ca					
血清カリウム抑制剤	カリメート（散、経口服液）	ポリスチレンスルホン酸カルシウム	効果減弱 ^①		/	効果減弱 ^①	添付文書・IF 併用により全身性アルカローシスなどの症状があらわれたとの報告				
	ポリスチレンスルホン酸Ca経口ゼリー										
	ケイキサレートDS										
甲状腺ホルモン剤	チラーチンS（散、錠）	レボチロキシナトリウム水和物	吸収阻害 ^②	/		吸収阻害 ^②	添付文書・IF 投与間隔はできるだけ開ける				
	25mcgチロナミン錠	リオチロニンナトリウム									
降圧薬	アルドメット錠	メチルドパ水和物	/		吸収阻害 ^⑤	/					
ジギタリス製剤	ジゴシン（散、錠）	ジゴキシン						吸収阻害 血中濃度低下 ^②		/	効果増強 ^⑥
	ハーフジゴキシン KY錠0.125										
	メチルジゴキシン錠		メチルジゴキシン								
肝・胆・消化機能改善剤	ウルソ（錠、顆粒）	ウルソデオキシコール酸	吸収低下 ^②	/		/					
抗アレルギー薬	ディレグラ配合錠	フェキソフェナジン塩酸塩 塩酸ブソイドエフェドリン	吸収低下 ^② (AUC40%↓)								
	フェキソフェナジン塩酸塩錠	フェキソフェナジン塩酸塩									
骨代謝改善薬	アクトネル錠	リセドロン酸ナトリウム	/		吸収低下 ^④	/	添付文書・IF 本剤服用後30分経ってから服用				
	リカルボン錠	ミノドロン酸水和物									
	ダイドロネル錠	エチドロン酸二ナトリウム						吸収低下 ^④	添付文書・IF 服用前後2時間はあけること		
	ボンピバ錠	イバンドロン酸ナトリウム水和物						吸収低下 ^④			
	ボナロン（錠、ゼリー）	アレンドロン酸ナトリウム水和物						吸収低下 ^③		吸収低下 ^③	添付文書・IF 本剤服用後30分経ってから服用
ビタミンD製剤	アルファロール （カプセル、散、内用液）	アルファカルシドール	/		高Mg血症に注意 ^⑤	高Ca血症に注意 ^⑥					
	アルファカルシドール錠										
	エルデカルシトール カプセル							エルデカルシトール	高Mg血症に注意 ^⑤		
止瀉剤	タンニン酸アルブミン	タンニン酸アルブミン	/		効果減弱 ^②	/	併用禁忌！				
緩下剤	酸化マグネシウム（細粒、錠）	酸化マグネシウム						Feの吸収・排泄に 影響することあり ②⑥	高Ca血症に注意 ^⑥	添付文書・IF Fe:投与間隔空けること	
	グーフイス錠	エロピキシパット									効果減弱 ^⑤
HMG-CoA 還元酵素阻害剤	クレストールOD錠	ロスバスタチンカルシウム	吸収低下 ^⑤ (AUC54%↓)		/		添付文書・IF 本剤投与後2時間以上あけて投与				
鎮痛薬	セレコキシブ錠	セレコキシブ	効果減弱 ^⑤		/						
腎性貧血治療薬	エベレンゾ錠	ロキサデュスタット	効果減弱 ^⑤		/		添付文書・IF 1時間以上間隔をあける				
	バフセオ錠	バダデュスタット	吸収低下 ^③		/		添付文書・IF 2時間以上間隔をあける				
	マスーレッド錠	モリデュスタット	吸収低下 ^⑤		/		添付文書・IF 1時間以上間隔をあける				
抗てんかん薬	ガバベン錠	ガバベンチン	吸収低下 ^⑤ (AUC20%↓)		/		添付文書・IF Al, Mg含有剤から2時間以上 空けて投与				

分類	薬品名	一般名	金属				備考	
			Al	Mg	Fe	Ca		
抗パーキンソン薬	イーシー・ドパール配合錠	ベンセラジド塩酸塩 レボドパ	/	/	/	/	添付文書・IF 2～3時間空けて服用	
	エンタカボン錠	エンタカボン						
	スタレボ配合錠	エンタカボン カルビドパ水和物 レボドパ						
	ドバコール配合錠 (メネシット配合錠)	カルビドパ水和物 レボドパ						
	デュオドーパ配合経腸液							
	ドブソD錠	ドロキシドパ						
	ドバストンカプセル	レボドパ						
	オンジェンティス錠	オピカボン						
抗悪性腫瘍剤	スプリセル錠	ダサチニブ水和物	吸収阻害 ^⑤				添付文書・IF 本剤投与前後2時間はあけること	
	エストラサイトカプセル	エストラムスチンリン酸エステルナトリウム水和物	/				吸収低下 ^④	
免疫抑制剤	セルセプト (カプセル、懸濁用散)	ミコフェノール酸モフェチル	吸収低下 ^⑤ (AUC17%↓)					
抗生剤 ニューキノロン系 キノロン系	オゼックス細粒小児用	トスフロキサシントシル酸塩水和物	吸収低下 ^④ (AUC37%↓)	吸収低下 ^④ (AUC54%↓)	吸収低下 ^④ (AUC16%↓)	吸収低下 ^④ (AUC42%↓)	添付文書・IF 同時投与は避けるなど注意すること	
	クラビット細粒	レボフロキサシン水和物	吸収低下 ^③ (AUC44%↓)	吸収低下 ^③ (AUC22%↓)	吸収低下 ^③ (AUC19%↓)	/	添付文書・IF 本剤投与後1～2時間はあけること	
	レボフロキサシン(錠、OD錠)		吸収低下 ^③					
	アベロックス錠	モキシフロキサシン塩酸塩	吸収低下 ^③					
	グレースビット錠	シタフロキサシン水和物	吸収低下 ^③ (AUC75%↓)	吸収低下 ^③ (AUC51%↓)	吸収低下 ^③ (AUC56%↓)	吸収低下 ^③ (AUC28%↓)		
	シプロキサ錠	シプロフロキサシン塩酸塩水和物	吸収低下 ^③				添付文書・IF 本剤服用後2時間以上あけること	
	小児用バクシダール錠	ノルフロキサシン	吸収阻害 ^③					
	ジェニナック錠	メシル酸ガレノキサシン水和物	吸収阻害 ^③					
	ラスビック錠	ラスフロキサシン塩酸塩	吸収阻害 ^③				添付文書・IF 同時服用は避けること	
テトラサイクリン系	ビブラマイシン錠	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	吸収低下 ^③					
	アクロマイシンVカプセル	テトラサイクリン塩酸塩	吸収阻害 ^③				添付文書・IF 2～4時間空けて服用すること	
	ミノサイクリン塩酸塩錠	ミノサイクリン塩酸塩	吸収阻害 ^③					
セフェム系	セフゾンカプセル	セフジニル	吸収低下 ^⑤		吸収阻害 ^④	/	添付文書・IF Al、Mg⇒本剤投与後2時間以上あける Fe⇒本剤投与後3時間以上あける	
	セフジニル細粒小児用							
	バナン(錠、DS)	セフボドキシムプロキセテル	吸収阻害 ^⑤				同時投与は避ける	
マクロライド系	ジスロマック(錠、細粒)	アジスロマイシン水和物	Cmax24%↓、AUCは有意差なし ^⑤				添付文書・IF 投与前後2時間以上あける	
抗結核薬	イスコチン錠	イソニアジド	吸収低下 ^③	/				添付文書・IF 服用時間をずらすことにより 相互作用は弱まるとの報告あり

分類	薬品名	一般名	金属				備考	
			Al	Mg	Fe	Ca		
抗HIV薬	アイセントレス錠	ラルテグラビルカリウム	吸収低下③		/	吸収低下③ (600mg製剤のみ)	添付文書・IF 前後6時間は投与しない (600mg製剤：投与後12時間以内はAl、Mg、Ca含有製剤を投与しない)	
	テビケイ錠	ドルテグラビルナトリウム	吸収低下④				添付文書・IF 金属含有製剤の投与2時間前または6時間後に投与	
	トリーメク配合錠	アバカビル硫酸塩 ドルテグラビルナトリウム ラミブジン						
	ビクタルビ配合錠	エムトリシタピン テノホビルアラフェナミドフマル酸塩 ビクテグラビル	吸収低下③				添付文書・IF 2時間以上間隔をあけるか、食後に投与する	
	ゲンボイヤ配合錠	エルビテグラビル コピシタット エムトリシタピン テノホビル アラフェナミドフマル酸塩	吸収低下③				添付文書・IF 2時間以上間隔をあけて投与	
	ドウベイト配合錠	ドルテグラビルナトリウム ラミブジン	吸収低下④				添付文書・IF 金属含有製剤の投与2時間前または6時間後に投与	
その他	メタルカプターゼカプセル	ベニシラミン	吸収低下⑤			/	添付文書・IF 同時投与は避ける	
	メタライトカプセル	トリエンチン塩酸塩	/	効果減弱②	/	添付文書・IF 2時間以上の間隔をあける		
	レボレード錠12.5mg	エルトロンボバグオラミン	吸収阻害④ (AUC70%↓)		吸収阻害④		添付文書・IF 本剤投与前4時間、投与後2時間以上あける	
	ウラリット-U配合散	クエン酸カリウム・ クエン酸ナトリウム水和物	Alの吸収促進③	/				添付文書・IF 2時間以上間隔をあける
	クエンメット配合錠							
	ホスリボン配合顆粒	リン酸二水素ナトリウム一水和物 無水リン酸水素二ナトリウム	吸収阻害②					添付文書・IF 同時に服用させない
	リオナ錠	クエン酸第二鉄水和物	Alの吸収促進⑤					
	コロネル細粒	ポリカルボフィルカルシウム	効果減弱⑥		/	効果減弱⑥ 高Ca血症に注意		
	デフェラシロクス顆粒	デフェラシロクス	効果減弱③	/				
レスピア静注・経口服液	無水カフェイン	/	Feの吸収低下⑥					/

【機序】

①陽イオンと交換する可能性 ②消化管内で結合、吸着 ③キレート形成 ④錯体形成など ⑤機序不明 ⑥その他

参考:各種添付文書、インタビューフォーム

※当院の採用薬品を記載している。後発医薬品の採用もある場合は一般名の名称を太字で表記している

※併用に注意する薬剤として金属含有製剤が記載されているが、その機序が制酸作用のみである薬剤は記載していない

※併用に注意する薬剤として金属含有製剤が記載されているが、その機序がmilk-alkali syndromeのみである薬剤は記載していない

※数値は添付文書・IFを参照している。あくまで目安としての値である